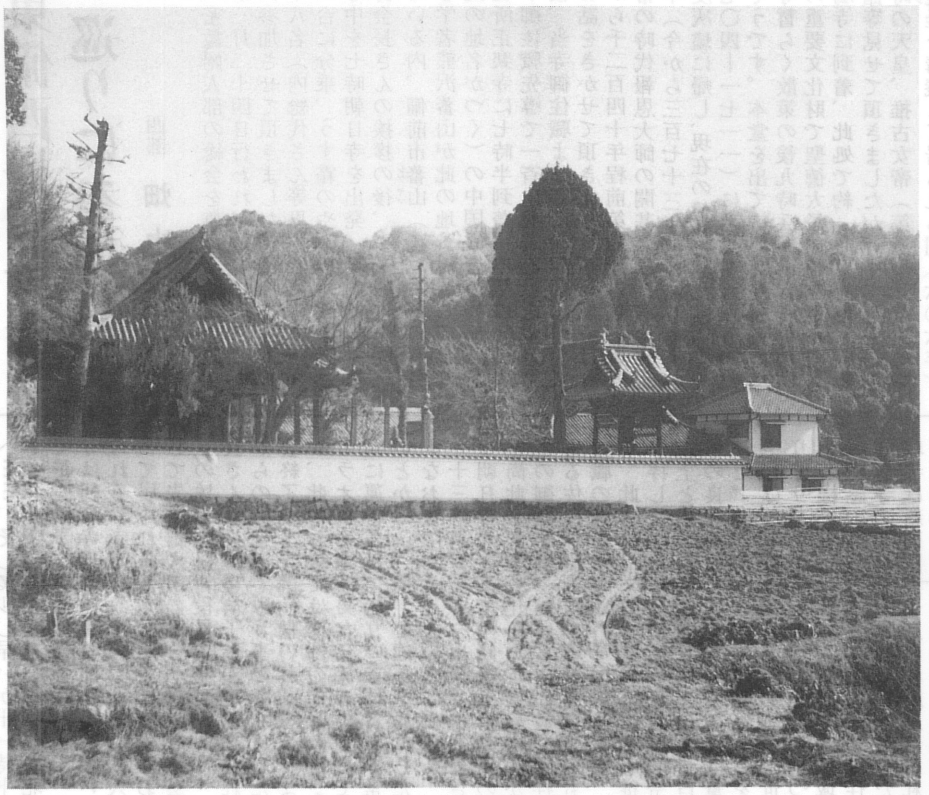

西方よりの朝日寺

新年を迎えて

住職　若松隆英

檀信徒の皆様、明けましておめでとうございます。昨年は客殿修復六ヶ年計画の初年に当たりましたが、皆様方のご協力のおかげで順調にスタートいたしました。紙面を通じてではございますが厚く感謝申し上げます。

今、「こころの時代」という事がよく言われます。日本は敗戦の痛手から、外国人に「働きバチ」と表現されるような働き振りで、経済的な豊かさを達成いたしました。しかし豊富な「もの」に囲まれてみて、これでいいのかなと考えた時、やはり精神的なものを見つめて行かなければならないということに気付き、その中で生まれてきたのがこの「こころの時代」という言葉です。

日本は今、外国からは内需拡大を求められ、内でも高齢化社会をむかえて、いやおうなしに余暇の活用が進められています。邑久町を見ても公民館等では種々の講座が開かれ、又、夢二の生家や牛窓には遠くから多くの観光客がおとずれています。うるおいある生活へむけてこういう傾向はますます強まるでしょう。

こうした中で、宗教にも大きなものが求められて当然です。もともとお経というのは、お釈迦さまが悩む人々に、その人の状態に応じた「たとえ」を使って、悩みの原因を見つめさせ、その解決方法を説き明かしたものです。お釈迦さま亡きあと、皆んなで繰り返し繰り返し、唱和してわすれないようにして、次代の人に伝えていきました。皆んなで唱和する中でお釈迦さまの説かれたことを心の中にきざみつけて、実践をしていったわけです。後にそれらが本にまとめられて経典となりました。つまりお経というのは苦しみの原因を、解決の方法を、生きていく道筋を説いたものです。お経は我々が暗記しやすいように詩のような形をとっています。だからわからずに聞いていてもリズム感があります。八万四千あると言われるお経の中に、法句経という四百二十三偈からなるお経があります。その一偈を紹介します。

おのれあしきをなさざれば
おのれあしきをなさば
おのれけがる。
おのれあしきをなさざれば
おのれ清し。
けがれと清浄とは
すなわちおのれにあり。
いかなるひとも
ひとをば清むるあたわず。
世によく自業自得とか因果応報とか因縁とか言われます。前掲の偈を表わす言葉ですが一般には他人を批判したり、自分の境遇をなげいたりする暗いイメージで使われますが、この偈を見ていますと、もっと明るく積極的にいいことを積みかさねていく必要性を感じます。今まで自分のなしてきたことが今の自分を作り、今の自分の振舞が将来の自分を作っていくわけです。

一年の初まりに当り、決意を新たにして事に臨んでまいりましょう。

合掌

朝日寺だより
発行者　若松隆英　会
総代
印刷者　奥山印刷

御挨拶

密教婦人会々長　役重瑳禧子

明けましておめでとうございます。

謹しんで新春の御挨拶を申し上げます。

平素は密教婦人会の行事に際しましては、一方ならぬ御協力を頂き誠に有難うございます。

私事此度地区の役員をお受け致しましたところ全く思いがけなく、会長という責任ある役をおゝせつかり、とても〳〵私如きものがつとまるものではないと御辞退申し上げましたが改選と言う事なので、その大役をお引受け致しました。引き受けました以上、一生懸命おつとめ致したいと思います。前任者同様よろしくお願い申し上げます。

五月八日の花祭りもい、お天気にめぐまれ、沢山の方々のお詣りをいただゞき、御住職の御講話そして、佛説摩訶般若波羅蜜多心経の本等いただゞきました。ぼけなし薬師如来の前で御詠歌連中の方がとなえられる中、献花、献茶、献燈をし般若心経を皆様と青空のもとあげ、本当に有難い気持でいっぱいでした。

十月二十二日西大寺観音院にて弘法大師さまと有縁の寺々のお砂を一堂に集め、各寺院のお掛軸を拝み、短時間にて八十八ヶ寺お詣りさせていただゞきました。はじめは人数ができるかと心配致しましたが、思いもかけず七十六名もの参加者ができ、役員の方々の御努力と有難く感謝いたしております。おそろいのおいづるをつけ坂本運輸さんの御協力をえて、バスを出していただき無事おまいりさせていただき有難うございました。い、お天気にめぐまれ、なごやかにこの行事も無事おわりました。有難うございました。

また、總代会の皆様、大変御協力をいただゞき本当に有難うございました。今後ともよろしくお願い致します。

最後になりましたが、皆様の御多幸と御健康をお祈り致しまして御挨拶にかえさせて頂きます。

合掌

年頭にあたって

総代長　島岡篤

明けましておめでとうございます。

謹しんで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は大変お世話になりました。総代会と致しましては別にこれと言った行事はありませんでしたが、十月一日に朝日寺初代・弐代の墓所を現在の墓所に合祀。塀の修復。先代若松隆如住職の二十五回忌法会の合同法会に協賛させて頂きました。十月十二日から十四日までの二泊三日で第二回四国霊場巡りを行いました。今年は高知方面で十三ヶ寺でございましたが、お陰様で四十七名のご参加をいたゞき盛会裡に修了いたしました。ありがとうございました。十月二十二日には西大寺観音院でのお砂踏行事参加（密教婦人会主催）につきましても協力させて頂きました。特に今年は長年の懸案でありました朝日寺改修計画の最大工事である客殿の払葺実施計画を樹て皆様にご無理を申上げた事でございます。趣意書をお配りしご協力をお願い致しました所、檀家の皆様には大変な出費にもかゝわりませずご理解をいたゞきご賛同下さいました事を紙上をかりまして厚くお礼申し上げます。五年後には立派な客殿が出来上ることと思います。毎年のことでございますが宜しくお願い申し上げます。まだ改修計画には色々ございますが、総代会と致しましては全力をつくして朝日寺の維持につとめる所存でございますので、今後共宜しくお願い申し上げます。最後になりましたが皆様方のご健康とご多幸をお祈り申し上げご挨拶と致します。

合掌

御詠歌を通じて

水野幸子
小川良子

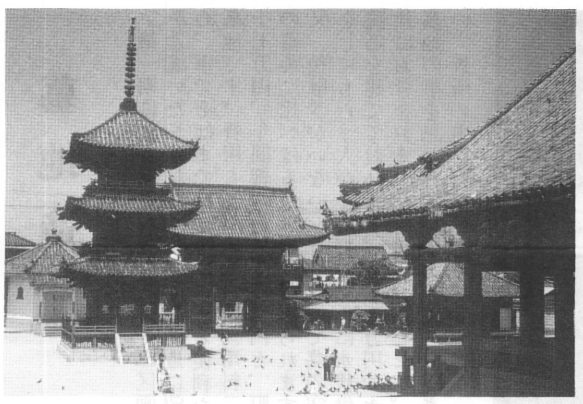
謹んで新年の御挨拶を申し上げますと共に檀家皆様方の御健勝をお慶び申し上げます。

釣り上げし魚を宝と抱きしめて笑う恵比須の神の御威徳、七福神第一番の御詠歌でございます。御詠歌には八十三曲ございまして、お目出度い曲、嬉しい曲、供養の曲、等々ございます。私共が朝日寺本尊御開扉を機会に一念発起し、金剛講員として御詠歌を始め、三密の修業に入りまして七年が過ぎました。奥深く厳しい道でございますが、心和む思いで楽しんで居ります。此に昨年一年間の行事を書出して見ました。

一月十一日　備前本部金剛講員新年会出席者　六十余名、朝日寺組がお当番で司会進行をお世話致しました。

三月二十四日　朝日寺密教婦人会東備西播四ヶ寺巡り。

朝日寺御親戚の安養寺御住職様より立派な、お写経用紙を頂戴致しました。


西大寺観音院

四月二十六日　二十七日
高野山全国奉詠舞大会
備前本部も教導の部で入賞を果しました。

五月八日　花まつり

六月二十三日　二十四日
高野山金剛講巡回講習会

北海道より近藤裕史先生が来岡下さり東寿院にて講習を受け昇補試験もありました。

七月二十四日　よみあげ

八月十七日　東寿院水まつり
御詠歌の師東寿院水まつりにお詣りして金魚すくい、氷屋、おでん、おにぎり等の店の出る中で盆おどりを楽しみました。

九月二十七日　玉津地区戦没者慰霊祭

十月十二日　十三日　十四日　四国巡拝
昨年は徳島県から高知方面十三ヶ寺巡拝

十月二十二日　備前お砂踏み法要
西大寺観音院にて法要があり、檀家の皆様方も御参拝され私共も御詠歌を奉詠致しました。

十月二十七日　二十八日
中国ブロック奉詠舞大会
美作地方本部のお当番で湯郷温泉で開催せられ中国五県から五七〇余名の方が参加なさいました。朝日寺の私達も参加し入賞を果しました。特に美作地方本部の密教婦人部として若い方が三十余名登壇せられ奉詠なさいました。美しく力強く華かで高齢者の私達はとても羨しく感じました。

こうして書出して見ますと永い様な、そして又、短い一年であった様に思います。

檀家の皆様方とお四国巡拝の結願に、御詠歌でと近年毎年高野山へお詣りが出来ました。

参拝の度毎に、お大師様の偉大さを知り有難く法悦の喜びに浸って帰ります。本年も御先祖様の御供養と子孫の繁栄をお願いし、又自分の健康の為にも鈴鉦をもって曲を覚え、声を出して此の道に精進致し度いと思います。御一諸にお勉強下さる方をお待ち致して居ります。

合掌

三十番善楽寺にて